

[もっと素敵に、心地よく暮らしましょう。]

S @ L E I L

「ソレイユ」VOL.13

Hybrid Solar Association

Information Magazine

For Human Who Loves Ecology

太陽の
恵みと
暮らす家

東京都
多摩市

「心地いい毎日」を過ごす家

東京都多摩市 吉岡邸

黄色い壁が印象的な吉岡さんご夫婦の

お宅は、自然の恵みに囲まれています。庭にはご主人が自ら植えた梅、桜、木蓮、山桃、レモン、みかん、柿が茂り、家庭菜園ではジャガイモ、さといも、トマト、きゅうり、ほうれん草、大根が育つ。

「今の時期はほうれん草や、大根くらいですね。ほうれん草は小鳥がついばんでいきますよ」——四季折々の実りを感じられる魅力的なお住まいは、素敵な出会いによって実現しました。

土地との出会い

吉岡さんの以前のお住まいは、アパートや人家が隣接していて、周辺の道も狭い場所でした。「田舎育ち」とおっしゃるご主人が理想としていたのは、家庭

菜園ができるような広い庭があるお住まい。奥様も、趣味のひとつである絵画作品の収納場所やアトリエが欲しいという理想をおもちでした。

大学教員であるご主人の多量の蔵書の重みで床がたわんだこともあって、そのお宅を建て替えることを考えられたのですが、「建て替えても今と同じような家しか建たないよ」といわれ、大幅な改築はあきらめることになりました。その後、台所の改装や、屋根の葺き替えを施したものの、部屋の寒さに床暖房が欲しいと常々思われていたそうです。

しかし理想は理想、誰でも考えはするけれど、それを実現するのは無理だろうと思っていた時、たまたま紹介されたのが、現在のお住まいを建てることになる土地でした。

高田社長との出会い

土地が見つかり、住宅建築にあたって、吉岡さんは大手ハウスメーカーの見学会などを巡りました。しかし、最終的に施工をお願いするに至ったのは、以前のお住まいから徒歩5分に店を構える高田工

務店さんでした。完成して2年を過ぎた今でも、家のことで何かあれば「まず高田さんに電話する」という強い信頼を置ける工務店さんに出会えたことは、吉岡さんの「理想」を実現するのにとっても重要な要素でした。

奥様の作品であるステンドグラスを、インテリアだけでなくドア飾りにも取り入れるため、「ステンドグラスの大きさがこれだから、ドアの大きさはこうしよう」といった具合に設計は進んでいきました。

「自然のものを使いたい」と思っていたご主人は、とくに自然の一枚板を書斎の机に使いたいと考えておられました。その要望を受けて高田社長が見つけてきたのは、25年物の秋田杉の一枚

板。長さ6mものこの一枚板は、リビングの化粧棚にも使われています。この棚には、ご主人が国内外で収集された陶器が飾られ、この棚が見えるソファはご主人お気に入りの場所になっています。他にも、ご主人こだわりの洗面や風呂場の床石や、リビング・ダイニング・和室が一体となった空間に落ち着きを与える7寸角の柱など、様々な自然素材が効果的に取り入れられています。

さらに書斎は、蔵書の重みに耐えられるように構造計算され、収納量は充分。おかげで大学の研究室に所蔵されていた書物もほとんど書斎に収納され、研究室から早めに帰って書斎でお仕事をする時間が増えたそうです。机の面する窓にはカーテンがかかっておらず、天窓からの光が溢れます。

ご夫妻の持っていた様々なこだわりと想い、ライフスタイルを存分に実現した背景には、「自然・天然にこだわっているが、それが全てではない。素材の利点・欠点を把握した上で、住む人の生活スタイルに良いと思うものを選んでもらった。」という高田社長の細やかな心遣いがあります。

ハイブリッドソーラー

との出会い

そして、床暖房が欲しいとは思っていたものの、ソーラーに決めていたわけではなかった吉岡さんが、見学会でハイブ

リッドソーラーの家を体験したことも、「理想」を実現するのに大切な出会いだったようです。エコロジー／自然に優しいという点に加え、やはり実際に肌で感じたことが、最大の決め手になったことでした。

これまでは冬は寒くて洗面所にヒーターを置き、起床時や出掛ける時の着替えが苦痛だった生活はソーラーで一変したようです。「洗濯物がよく乾くようになりました」というお宅の中で、最大の変化はなんと、「お風呂の回数が増えたこと」。天気が良いとすぐにお湯が沸くし、ペアガラスなので結露がまったくなく、この家のお風呂は本当に気持ちいいとご主人。

また、棟梁にお願いして、緑側と同じ板で作ってもらったベッドも、今までと比べようもなく温かいとのこと。布団は干さなくてもふふわ。どんなに寒い夜でも寒さを感じたことはないそうです。加えて高田社長は、「木が反る／割れるといったあばれが少ないのは、ソーラーによって一年中温度が一定に保たれているからではないか」と。ハイブリッドソーラーの効果は快適さだけではないようです。

「最初の予算よりずいぶんオーバーしたが、以前にはなかった心地よさを体感できているのだからお金の問題ではない」と話すご夫妻。取材中も、欄間や新たなステンドグラスの設置を高田社長とご相談されていました。ますます膨らむ「理想」に向けて、吉岡邸はさらに進化の途中、といったところでしょうか。



○設備概要○
間取り 5LDK
敷地面積 451.22㎡
建築面積 101.07㎡
(1階：96.68㎡ 2階：61.03㎡)
太陽熱コレクター（屋根一体型）14面
設計・施工/有限会社高田工務店



庭にはクロッカスや梅が咲き、菜園には美味しいような大根が植わっていました。



光が差し込む明るい書斎には、ご主人こだわりの一枚板の机。



一階で唯一、床暖房が入っていない奥様のアトリエは、空気がヒヤッとしていて春はまだ先であることを思い出させてくれる。



部屋に彩を添えるドア飾りのステンドグラスは奥様の作品。



ご主人お気に入りのソファからの眺め。秋田杉の一枚板と7寸角の柱が大きな空間に負けない存在感をだしている。

